

香取市地域公共交通協議会 (第47回協議会資料)

目次

議 事

- (1) 香取市地域公共交通網形成計画における事業実施状況の評価
について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 循環バスのルート変更等について・・・・・・・・・・ 8
 - ① 北佐原・新島ルート
 - ② 福田ルート・平日周遊ルート
 - ③ 栗源ルート（沢経由・高萩経由）
 - ④ 山田ルート
 - ⑤ 横断ルート
- (3) 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について・・・・ 13

(1)香取市地域公共交通網形成計画における事業実施状況の評価について

① 目標達成度の評価

基本的な方針	計画の目標	評価指標	計画策定時 (令和2年3月)	令和2年度 数値	令和3年度 数値	目標値 (令和6年度)	達成状況	備 考
1 まちづくりと連携した、地域間・都市間のアクセスを強化する公共交通の再編	①地域間の連携に資する公共交通網の形成	公共交通利用者数(鉄道、高速バスを除く) (運行事業者報告)	127,708 (人)	85,863 (人)	90,325 (人)	124,000 (人)	C	
		循環バス・ワゴン、乗合タクシー 利用度満足度 (利用者アンケート調査)	50.9 (%)	—	—	55.0 (%)	D	利用者アンケートについては、令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。令和4年度実施予定。
	②交流人口増加に向けた公共交通の強化	香取市と市外を結ぶ公共交通体制の整備についての満足度 (市民意識調査)	-16.7 (%)	—	—	-15.0 (%)	D	市民意識調査は令和4年度実施。
		市内バス停からの高速バス年間乗降者 (運行事業者報告)	261,399 (人)	73,418 (人)	93,977 (人)	273,000 (人)	C	
2 各公共交通機関との相互連携や、誰もが利用しやすい環境整備による利便性向上	③利用しやすい公共交通環境の整備	市内の公共交通体制の整備についての満足度 (市民意識調査)	-24.6 (%)	—	—	-20.0 (%)	C	市民意識調査は令和4年度実施。
		公共交通拠点整備箇所数 (佐原駅(2)、小見川駅、小見川駅周辺、山田支所、栗源支所)	2 箇所	2 箇所	2 箇所	6 箇所	C	整備箇所 佐原駅南口、小見川駅
	④誰にでも分かりやすい公共交通の実現	公共交通の情報提供に関する満足度 (利用者アンケート調査)	—	—	—	(今後実施する利用者アンケートより設定)	D	利用者アンケートについては、令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施なし。令和4年度実施予定。
3 多様な主体との連携による持続可能な公共交通の構築	⑤地域全体で支える公共交通の構築	年間1回以上、香取市内の公共交通を利用する人の割合 (市民意識調査)	8.6 (%)	—	—	15.0 (%)	D	市民意識調査は令和4年度実施。
		公共交通の受益者負担率 (運賃収入÷運行経費)	22.0 (%)	11.9 (%)	14.9 (%)	26.0 (%)	C	令和2年度より栗源線について事業者独自採算路線化のため未計上
		公共交通に係る財政支出の削減 (決算状況等)	(現状を100とする)	97.0 (%)	104.4 (%)	-20.0 (%)	C	市循環バス再編による新規路線設置に伴う財政支出の増加

【 <達成状況> A:達成済み B:達成見込み C:達成困難 D:その他 】

②目標を達成するために行う事業の実施状況

計画の目標	事業		事業概要	実施状況	課題と対応策	令和4年度に実施予定
①地域間の連携に資する公共交通網の形成	【事業1】 市民・来訪者の移動ニーズに対応した路線バスの再編		○通学、通院等の実態に即したダイヤ見直しや鉄道等とのダイヤ接続の向上	【令和2年度】 ・佐原地区にある高校3校の通学利用時の利便性の向上のため、大倉線のダイヤ改正を実施 ・栗源成田空港線について、観光客及び利用者のアクセス向上を図るため。集客能力のある観光施設への延伸を実施 【令和3年度】 - 旭中央病院線の廃止（府馬線、市循環バス（横断ルート）で代替）	・ダイヤ改正及び路線延伸により利便性の向上は図られたが、学生が利用しない時間帯等の便についての利用実績が少ない。 ⇒学生以外についての利用を促進するため、香取市公共交通ガイド等を用い、広く周知活動を実施する。 ・旭中央病院線の廃止に伴い、代替路線として、府馬線との接続を考慮した市循環バス（横断ルート）の運行を開始したが、運行便数が減ったことで従前より通院者が利用しづらい状況となっている。 ⇒運行事業者と連携を図るとともに、利用者の要望も踏まえ、既存路線バスとの接続や利用者の利便性に資する公共交通となるよう検討する。	鉄道及び路線バス等の接続を意識したダイヤ改正の検討
	【事業2】 循環バス・ワゴンの再編	佐原循環ワゴン（福田ルート・周遊ルート）の運行 既存循環バス・ワゴンの再編	○令和2年4月より「香取市循環ワゴン（福田ルート）」実証運行の開始－（i） ○路線バスとの競合を考慮した主要施設へのアクセス改善－（ii） ○利用実績、鉄道駅での循環バスとの接続を考慮したダイヤの見直しの検討－（iii） ○基本運賃の見直し、通学定期券導入の検討－（iv）	【令和2年度】 令和2年4月「香取市循環ワゴン（福田ルート、周遊ルート）」の実証運行（混合路線）を開始－（i） 【令和3年度】 令和3年10月、支所等へのアクセス向上及び効率的な公共交通網形成のため、市循環バス路線再編を実施 ・統一運賃の導入を実施－（iv） ・中高生回数券の導入を実施 ・旭中央病院線の代替路線として横断ルートの新設を実施 ・北佐原新島ルートについて、始発終点の変更による効率化、大型商業施設への乗入れを実施－（iii） ・大戸瑞穂ルートについて、始発終点の変更による効率化、大戸駅への乗継改善を実施－（iii） ・小見川ルート（城山経由）について、バス停「小見川高校」の新設による新規利用者取り込みを実施 ・山田ルートについて、ルート及びダイヤの見直しを実施 ・山田ルートについて、府馬線との重複区間の一部撤退による府馬線への利用者集積を実施－（ii） ・栗源ルートについて、佐原への乗入れを実施	・再編後のJRダイヤ改正に伴う乗り継ぎ問題等が生じた。 ⇒適宜、バスと鉄道駅の接続を意識したダイヤの見直し等を検討する。 ・実証路線の収支予測が困難なため、循環バス全ルート共通での割引制度や通学定期券等が未導入。 ⇒今後、利用実績等を考慮した本格運行を実現し、バス運行事業者と協議を進める必要がある。 ・交通不便地域が依然として存在している。 ⇒地域の要望も踏まえ、新規循環バス路線等乗り入れの検討を進める。	鉄道及び路線バス等の接続を意識したダイヤ改正の実施 交通不便地域への新規バス路線等乗入れの検討

②目標を達成するために行う事業の実施状況

計画の目標	事業	事業概要	実施状況	課題と対応策	令和4年度に実施予定
① 地域間の連携に資する公共交通網の形成	【事業3】 乗合タクシーの再編	○運行エリアや共通乗降場所の見直し、運行日、運行時間帯などのサービス内容の検討－(i) ○利用登録者アンケート調査での意向を踏まえ、運賃の値上げを検討－(ii)	【令和2年度】 利用者への公平性及び効率運行の観点から、予約開始日の見直しを実施－(i) 【令和3年度】 適正な受益者負担、民間タクシーの初乗り運賃、県内近隣自治体の運賃体系や利用条件等を勘案し、運賃値上げの改定(大人400円→600円)を実施－(ii)	便当たりの平均乗合人数が2人未満である。 ⇒運行便数の最適化を検討する必要がある。	運行便数最適化の検討 乗降場所追加の検討
	【事業4】 香取市型新たなモビリティサービスの検討	○既存公共交通システムを補完する新たな公共交通システムの検討	【令和2年度】 新たな公共交通システムの検討を実施 【令和3年度】 ・新たな公共交通システムの検討を実施 ・IC運賃箱導入の検討を実施	ロケーションシステム等の導入を検討しているが、導入費用より予算規模の小さい事業でさえ、事業実施が難しい状況である。 ⇒国、県等の補助金、交付金、実証事業等、あらゆる導入可能性を検討していく。	新たな公共交通システムの検討 無人運転車両導入の検討
	【事業5】 タクシーの利用促進	○利用促進を図るため、市ホームページや「公共交通マップ」などにより周知の実施－(i) ○観光タクシーによる新たな需要の獲得等の利用促進の実施－(ii)	【令和2年度】 香取市公共交通ガイドの作成、市ホームページでの周知を実施 －(i),(ii) 【令和3年度】 香取市公共交通ガイド2021版の作成(3,000部)、市ホームページでの周知を実施(i),(ii)	引き続き、利用周知及び認知度向上策を講じていく必要がある。 ⇒事業15のモビリティマネジメントと合わせての利用促進に取り組む。	香取市公共交通ガイド2022版の作成 ガイド配布を通じた認知度向上事業の実施
	【事業6】 小中学校の再編に伴うスクールバスの有効活用	○スクールバスの有効活用方法の検討	【令和2年度】 スクールバス有効活用の検討 【令和3年度】 スクールバス有効活用の検討	スクールバス活用についての諸問題解決方法に対する議論が進んでいない。 ・スクールバス機能維持によるダイヤ制約 ・目的外使用に係る手続き ・保護者の理解 等 ⇒活用に至るまでの諸課題解決法について、引き続き、関係各所とともに検討を進めていく。	スクールバス有効活用の検討
	【事業7】 新たな担い手となる公共交通手段の掘り起こし	○地域との協働による自家用有償運送などの手法による新たな移動手段の確保	【令和2年度】 【令和3年度】	令和2年3月網計画策定時より、自家用有償を担う団体の増加はなく、未だ交通不便地域改善の担い手不足の状況である。 ⇒既存公共交通及び交通事業者への影響を考慮したうえで検討を進める。	自家用有償運送事業の担い手確保に向けた検討

②目標を達成するために行う事業の実施状況

計画の目標	事業		事業概要	実施状況	課題と対応策	令和4年度に実施予定
② 交流人口増加に向けた公共交通の強化	【事業8】 観光施設・商業施設との連携サービスの導入	割引サービス・企画切符等の導入	○観光施設や商業施設等と連携し、公共交通の利用に付加価値を付けた割引サービスや企画切符等の検討 －(i)	【令和2年度】 ・観光施設等と協力した香取市1日フリー乗車券優待事業(乗車券購入者が協力店舗で割引措置等を受けられるもの)の検討を実施－(i) ・「おでかけモデルプラン」の検討を実施－(ii)	・新型コロナウイルスの影響により、1日フリー乗車券優待事業の利用者が少ない。 ⇒特典利用状況及び新型コロナウイルス感染状況を鑑み、優待内容を再検討する。 ・「お帰り切符」については、民間に負担をお願いする必要がある。 ⇒複数テナントを有する商業施設、または商店街等、沿線商業者間での調整を引き続き進めていく。	1日フリー乗車券優待事業の事業評価及び特典の見直し
		おでかけモデルプランの作成	○需要の掘り起こしのため、公共交通を利用する「おでかけモデルプラン」の作成 －(ii)	【令和3年度】 ・民間施設での1日フリー乗車券販売の実施－(i) ・香取市1日フリー乗車券優待事業の実施－(i) ・商業施設と連携した「お帰り切符」事業(商業施設での買い物客に香取市循環バス乗車運賃割引チケットを提供するもの)の検討を実施－(i) ・「おでかけモデルプラン」の検討を実施－(i)	・「おでかけモデルプラン」については、新型コロナウイルスの影響により事業推進ができない。 ⇒新型コロナウイルスの状況や、バス路線の固定化、1日フリー乗車券等の優待事業の活用状況を加味しつつ、既存観光モデルコースとの調整を図りながら検討を進めていく。	「お帰り切符」事業の検討、実施 「おでかけモデルプラン」の検討
	【事業9】 高速バスの利便性向上	新規高速バス路線の導入	○「事業10」と合わせた新規路線可能性の協議、新規路線の要望	【令和2年度】 ・銚子東京線の銚子駅～佐原駅間の一般乗降化(半クローズの解除)を実施－(i)	新型コロナウイルスの影響により、新規路線が導入される状況にない。 ⇒新型コロナウイルスの状況を鑑み、新規路線の要望を検討していく。	高速バス新規路線可能性の検討
		既存高速バスの一般乗降化の導入	○銚子東京線の一般乗降化(半クローズの解除)の要望－(i)	【令和3年度】		

②目標を達成するために行う事業の実施状況

計画の目標	事業		事業概要	実施状況	課題と対応策	令和4年度に実施予定
③ 利用しやすい公共交通環境の整備	【事業10】 公共交通拠点の機能強化	佐原駅北口バスターミナルの整備	○佐原駅北口バスターミナルの整備－(i) ○「事業9」と合わせて、成田空港方面への高速バスの新設の要望 ○地区拠点として山田支所・栗源支所での乗り継ぎ環境向上の検討－(ii)	【令和2年度】 ・佐原駅北口バスターミナルの整備については、用地交渉難航のため進捗なし－(i) ・山田支所・栗源支所での乗り継ぎ環境向上の検討を実施－(ii) 【令和3年度】 ・佐原駅北口バスターミナルの整備については、用地交渉難航のため進捗なし－(i) ・令和3年10月、循環バス路線再編を行い、山田支所・栗源支所から交通拠点への乗り継ぎ環境向上を実施(山田、横断、栗源ルート)－(ii)	・佐原北口バスターミナルの整備については、用地交渉難航のため、完成時期未定となっている。 ⇒引き続き、用地交渉を進めていく。 新型コロナウイルスの影響により、新規路線が導入される状況にない。 ⇒新型コロナウイルスの状況を鑑み、新規路線の要望を検討していく。 ・山田支所・栗源支所の乗り継ぎ環境を更に向上させる必要がある。 ⇒待合所を設置する等、引き続き、向上策の検討を進めていく。	成田空港方面高速バス路線の検討 公共交通地区拠点候補の検討
		地区拠点の整備		【令和2年度】 循環バス車両としてノンステップバス(日野ポンチョ)4台導入の検討を実施 【令和3年度】 令和3年10月の循環バス路線再編に合わせ、ノンステップバス(日野ポンチョ)4台の導入を実施 ・北佐原新島ルート ・大戸瑞穂ルート ・小見川ルート ・山田ルート	横断ルートについて、ノンステップバスの導入ができていない。 ⇒車検切れ等のタイミングでの導入を検討していく。	新車両導入の検討

②目標を達成するために行う事業の実施状況

計画の目標	事業		事業概要	実施状況	課題と対応策	令和4年度に実施予定
④誰にでも分かりやすい公共交通の実現	【事業12】 運行情報の効果的な提供	公共交通総合マップの作成・配布	○利用促進を図るため、市ホームページや「公共交通総合マップ」の作成、配布、市ホームページでの周知－(i)	【令和2年度】 ・香取市公共交通ガイドの作成、市ホームページでの周知を実施－(i) ・バスロケーションシステムの導入検討－(ii)	・公共交通についての認知度が低い。 ⇒香取市公共交通ガイドのレイアウトの変更、情報の随時更新、より効果的な配布方法等の検討を進めていく。	・香取市公共交通ガイドマップの作成、配布、市ホームページでの周知
		バスロケーションシステムの導入	○バスロケーションシステムの導入－(ii)	【令和3年度】 ・香取市公共交通ガイド2021版作成(3,000部)、市ホームページでの周知を実施－(i) ・市循環バスのうち千葉交通が運行する路線(北佐原・新島・大戸・瑞穂、山田、横断ルート)について、運行車両に千葉交通が独自にバスロケーションシステムを導入－(ii)	・千葉交通で導入しているバスロケーションシステムについては、管理者用システムのため一般に公表していない。 ⇒一般用システムの導入や、他の情報提供方法について検討を進めていく。	・一般用バスロケーションシステム導入の検討
		MaaSの研究	○MaaSの研究			
	【事業13】 公共交通への移動手段の転換に関する負担軽減	免許返納者優遇措置のPR活動	○運転免許自主返納者支援措置について情報媒体を活用したPR活動の実施－(i)	【令和2年度】 ・市独自の返納者支援措置を設定していないため、積極的なPRの実施に至っていない。 ・免許自主返納者支援制度導入の検討を実施－(i)	・支援措置については導入できていない。 ⇒支援措置内容を精査のうえ、交付金等を活用した単発的な制度導入について引き続き検討を進めていく。	免許自主返納者支援制度の導入検討
		免許返納者支援制度の導入検討	○免許自主返納者支援制度の導入検討	【令和3年度】 ・市独自の返納者支援措置を設定していないため、積極的なPRの実施に至っていない。 ・免許自主返納者支援制度導入の検討を実施－(i)		
	【事業14】 路線バス等の乗り方教室の開催		○小学生や高齢者等を対象とした路線バス等の乗り方教室開催の検討、実施	【令和2年度】 【令和3年度】	新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていない。 ⇒新型コロナウイルスの感染状況をみながら、実施を検討していく。	小学生等を対象とした路線バス等の乗り方教室開催の検討、実施

②目標を達成するために行う事業の実施状況

計画の目標	事業		事業概要	実施状況	課題と対応策	令和4年度に実施予定
⑤地域全体で支える公共交通の構築	【事業15】 市民意識啓発活動の実施	住民意見交換会の開催	○住民意見交換会の開催 ○広報誌などでの公共交通についての周知－(i) ○公共交通利用促進運動の実施	【令和2年度】 ・市内高校に対し、バス利用周知チラシの配布を実施－(i) 【令和3年度】 ・市内中学に対し、バス利用周知チラシの配布を実施－(i)	・新型コロナウイルス感染症の影響により、住民意見交換会等の開催ができていない。 ⇒新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、住民意見交換会に限らず、利用者アンケート等を通じて意見聴取の機会を作る必要がある。 ・周知の効果検証ができていない。 ⇒チラシ配布とともにアンケート等を実施し、効果検証に努める。	・市民意識調査の実施 ・住民意見交換会開催等の検討 ・市内中学校、高校に対し、バス利用周知チラシの配布 ・中高生向けアンケートの検討
		広報紙などでの公共交通についての周知				
		公共交通利用促進運動の実施				
	【事業16】 運転手の確保策の実施		○バスや運転手に特化した就職イベントの開催等の運転手確保策の検討、実施	【令和2年度】 【令和3年度】	バス事業者で運転手不足が顕著となっているが、確保策実施状況について事業者と議論の場を設けることができていない。 ⇒情報交換を実施し、関係者間で密に連携し、具体的な企画にできるよう調整を進めていく。	交通事業者と参集会議等において情報交換会を実施

(2) 循環バスのルート変更等について

① 北佐原・新島ルート

◆ 新規バス停留所の追加について

利用者の利便性向上を図るため、境島東～大割公民館間に新規バス停留所「大割」を設置することを協議する。

変更点：

バス停留所 1カ所の追加「大割」

変更理由：

バス停留所間（境島東、大割公民館）の距離が空いており、新規バス停留所の設置について大割地区から要望があったため。

変更内容：

イ) ルート図 資料1－1
ロ) 時刻表 資料1－2
ハ) 改定予定日 令和4年10月1日（土）

なお、本件変更に伴い、バス停留所の追加及び時刻表に変更が生じるが、運行日、運賃、使用車両は現行のとおりとする。

香取市循環バス北佐原新島ルート

- ・運行日 月曜日から金曜日 5便/日 ※祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く
- ・運賃 大人 300 円、中高生 100 円、小学生以下無料
 障害者手帳所持者（大人）100 円
 障害者手帳所持者（中高生）無料
- ・割引制度 回数乗車券 12 枚つづり 1,000 円
 1 日フリー乗車券 大人 600 円、中高生 200 円
- ・使用車両 専用車 日野ポンチョ / 予備車 日野リエッセ

② 福田ルート・平日周遊ルート

◆ ルートの変更、バス停留所の追加・廃止・移管、ダイヤ変更について

福田ルートにおける利用者の利便性向上を図るため、運行ルートを見直すことを協議する。また運行ルートの見直しに伴い、新規バス停留所を設置すること及びバス停留所を廃止（一部バス停留所の栗源ルートへの移管を含む）することを協議する。

変更点：

- ルート変更 福田ルート
- バス停留所 14ヵ所の追加「おおさき区民館」他
3ヵ所の廃止「大崎新田」他
2ヵ所の移管「天宮神社」他

変更理由：

福田地区まちづくり協議会より「運行ルートを以前の福田線グリーンバスのものに戻すこと」及び「忠敬橋（佐原地区旧市街）を通るルートに変更すること」等について要望があったため。

変更内容：

- イ) ルート図 資料2-1、2-2
- ロ) 時刻表 資料2-3
- ハ) 改定予定日 令和4年10月1日（土）

なお、本件変更により、福田ルートの運行ルート、バス停留所及び時刻表に変更が生じるが、運行日、運賃、使用車両及び平日周遊ルートは現行のとおりとする。

香取市循環バス（福田ルート・平日周遊ルート）

- ・運行日 福田ルート 火曜日・木曜日 3便/日
平日周遊ルート 火曜日・木曜日 4便/日
※祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く
- ・運賃 大人 300 円、中高生 100 円、小学生以下無料
障害者手帳所持者（大人）100 円
障害者手帳所持者（中高生）無料
- ・割引制度 なし
- ・使用車両 専用車 ジャンボタクシー（10 人乗り）
予備車 上記車両と同等の運行サービスの提供が図られる車両

③ 栗源ルート（沢経由・高萩経由）

◆ ルートの変更、バス停留所の追加、ダイヤ変更、予備車変更について

香取市循環バス（福田ルート）のルート変更に係るバス停留所の廃止等に伴い、本ルートで廃止等バス停留所周辺の利用者の利便性を補完すること及び佐原市街地の大型商業施設へのアクセス向上を図ることを目的とし、ルートの変更、バス停留所の追加及びダイヤを変更することを協議する。

また、予備車の車両変更について協議する。

変更点：

- ルート変更 栗源ルート（沢経由・高萩経由）
- バス停留所 沢経由 5ヵ所の追加「天宮神社」他
高萩経由 4ヵ所の追加「九美上第二公民館」他
- 使用車両 予備車 専用車と同等の運行サービスの提供が図られる車両

変更理由：

- 福田ルートからのバス停留所移管及び市街地へのアクセス向上のため。
- 予備車を10人乗りから専用車と同等の車両とし、利用者の利便性を向上させるため。

変更内容：

- イ) 使用車両 専用車 トヨタハイエース（15人乗り） ※変更なし
予備車 専用車と同等の運行サービスの提供が図られる車両
- ロ) ルート図 資料3-1、3-2
- ハ) 時刻表 資料3-3
- ニ) 改定予定 令和4年10月1日（土）

なお、本件変更に伴い、運行ルート、バス停留所、時刻表及び使用車両（予備車）に変更が生じるが、運行日、運賃は現行のとおりとする。

香取市循環バス（栗源ルート（沢経由・高萩経由））

- ・運行日 沢経由 月曜日・木曜日 2便/日（2往復）
高萩経由 火曜日・金曜日 2便/日（2往復）
但し、祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く
- ・運賃 大人 300 円、中高生 100 円、小学生以下無料
障害者手帳所持者（大人）100 円
障害者手帳所持者（中高生）無料
- ・割引制度 なし

④ 山田ルート

◆ ダイヤ変更について

山田ルートについては、第 1 便から第 4 便の遅延を解消し JR 小見川駅での電車乗継環境を向上させるため、また、第 5 便の JR 小見川駅の時刻表改正に伴う電車からの乗継環境を改善するため、ダイヤを見直しすることを協議する。

変更点：

時 刻 表 全便

変更理由：

各便でダイヤの遅延が常態化しており遅延を解消するため、また利用者から JR 小見川駅での乗り継ぎに関する要望があったため。

変更内容：

- イ) 時 刻 表 資料 4 - 1
- ロ) 改定予定日 令和 4 年 10 月 1 日（土）

なお、本件変更に伴い、時刻表に変更が生じるが、運行ルート、運行日、運賃、使用車両は現行のとおりとする。

香取市循環バス（山田ルート）

- ・ 運 行 日 月曜日から金曜日 5 便/日 ※祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く
- ・ 運 賃 大人 300 円、中高生 100 円、小学生以下無料
 障害者手帳所持者（大人）100 円
 障害者手帳所持者（中高生）無料
- ・ 割引制度 回数乗車券 12 枚つづり 1,000 円
 1 日フリー乗車券 大人 600 円、中高生 200 円
- ・ 使用車両 専用車 日野ポンチョ / 予備車 日野リエッセ
- ・ ルート図 現行のとおり

⑤ 横断ルート

◆ ダイヤの変更について

横断ルートについては、令和3年10月1日、路線バス「旭中央病院線」の廃止に伴い、その代替路線として新設した路線である。

常態化している遅延を解消すること、また JR 小見川駅の時刻表改正に伴う電車乗継の利便性を維持するためダイヤの見直しを協議する。

変更点：

時 刻 表 全便

変更理由：

各便でダイヤの遅延が常態化しており遅延を解消するため、また利用者から JR 小見川駅での乗り継ぎに関する要望があったため。

変更内容：

イ) 時 刻 表 資料5－1

ロ) 改定予定日 令和4年10月1日（土）

なお、本件変更に伴い、時刻表に変更が生じるが、運行ルート、運行日、運賃、使用車は現行のとおりとする。

香取市循環バス（横断ルート）

- ・ 運 行 日 月曜日から金曜日 5便/日 ※祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く
- ・ 運 賃 大人 300 円、中高生 100 円、小学生以下無料
 障害者手帳所持者（大人）100 円
 障害者手帳所持者（中高生）無料
- ・ 割引制度 回数乗車券 12 枚つづり 1,000 円
 1 日フリー乗車券 大人 600 円、中高生 200 円
- ・ 使用車両 専用車 日野リエッセ / 予備車 日野リエッセ
- ・ ルート図 現行のとおり

(3) 地域内フィーダー系統確保維持改善計画の策定について

香取市循環バス（小見川ルート）（旧名称：小見川循環バス）及び香取市乗合タクシー（旧名称：小見川乗合タクシー）については、国の支援策である地域公共交通確保維持改善事業費補助金を活用し、路線維持を図ってきた。

引き続き補助を受けるためには、道路運送法施行規則第9条の2に基づく地域公共交通会議（香取市地域公共交通協議会）において、地域内フィーダー系統確保維持計画を協議し、承認を得る必要がある。

については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第17条の規定による「地域内フィーダー系統確保維持計画（案）」を作成したので、その内容を協議する。

●事業の目標（計画値）について

・香取市循環バス（小見川ルート）

【利用者数の増加】

現在の令和4年度計画（令和3年10月～令和4年9月）では、香取市循環バス（小見川ルート）の利用者数の計画値を、令和4年度12,000人、令和5年度12,240人、令和6年度12,480人と設定している。

この計画に対し、令和4年度上半期（令和3年10月～令和4年3月）の実績6,157人から推計すると、令和4年度計画の実績は12,300人程度と見込まれる。

新型コロナウイルス感染症が流行する以前の令和元年度（平成30年10月～令和元年9月）と比較すると、700人程度の減少が見込まれる。

	令和元年度	令和3年度	令和4年度上半期	令和4年度見込み
	(H30.10~R1.9)	(R2.10~R3.9)	(R3.10~R4.3)	(R3.10~R4.9)
高萩経由	5,612	3,796	1,266	2,532
城山公園経由	7,439	8,229	4,891	9,782
合 計	13,051	12,025	6,157	12,314

以上から、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数減少からの回復傾向はあるものの、令和5年度計画の計画値は、令和元年度実績値13,051人まで段階的に数値を押し上げることを目標とした数値とする。令和3年度の増加傾向を加味し、令和5年度12,550人、令和6年度12,800人、令和7年度13,050人とする。

【収支率の改善】

令和5年度計画の計画値は、前述のとおり比較年度を令和元年度（平成30年10月～令和元年9月）実績の15.2%を基に、令和5年度14.6%、令和6年度14.8%、令和7年度15.1%とする。

・香取市乗合タクシー

【年間利用者数の増加】

現在の令和4年度計画の計画値は、新型コロナウイルス感染症の影響等を鑑み、令和4年度6,400人、令和5年度6,500人、令和6年度6,600人としている。

この計画に対し、令和4年度上半期（令和3年10月～令和4年3月）の実績3,154人から推計すると、令和4年度計画の実績は、6,300人程度と見込まれる。また、直近年度である令和3年度計画（令和2年10月～令和3年9月）の実績6,426人と比較すると、100人程度の減少となる。

	令和元年度	令和3年度	令和4年度上半期	令和4年度見込み
	(H30.10~R1.9)	(R2.10~R3.9)	(R3.10~R4.3)	(R3.10~R4.9)
利用人数（人）	6,396	6,426	3,154	6,308

以上から、令和5年度計画の計画値は、段階的な利用者数の増加を目標とし、令和4年度計画値にならい、令和5年度6,500人、令和6年度6,600人、令和7年度6,700人とする。

【収支率の改善】

現在の令和4年度計画の計画値は、令和4年度16.4%、令和5年度16.6%、令和6年度16.9%となっている。

この計画に対し、令和4年度上半期（令和3年10月～令和4年3月）の実績から推計すると、令和4年度計画の実績は16.1%程度と見込まれる。直近年度である令和3年度計画（令和2年10月～令和3年9月）の実績15.9%と比較すると、概ね令和4年度計画値通り順調に収支率は増加していると推察される。

以上から、令和5年度計画値についても、利用者数の計画値同様、令和4年度計画値にならい、令和5年度16.6%、令和6年度16.9%、令和7年度17.1%とする。

●目標達成に向けた事業及びその実施主体

・香取市循環バス（小見川ルート）

公共交通マップを作成し、公共施設、小見川地区に存する中学校及び高校等に配布することで、運行情報の効果的な提供を行う。（香取市）

中学卒業予定者等に対し利用促進リーフレットを配布し意識啓発を行う。（香取市）

千葉県立小見川高等学校と連携した利用促進活動を行う。（香取市、高等学校）

・香取市乗合タクシー

公共交通マップを作成し、公共施設等での配架を通じて、運行情報の効果的な提供を行う。（香取市）

※「生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）」は、別紙資料をご参照ください。